

災害救助犬 走る!

新潟中越地震 2004.10.27



災害救助犬の活動に皆様のご支援・ご協力をお願いします

●ご寄付・募金等のご協力を
よろしくお願いたします。

★郵貯銀行(総合口座)14420-44441251

(振替口座)00770-5-94464

★みずほ銀行富山支店(普通)1859929

■NPO法人災害救助犬ネットワーク



募金箱の設置に
ご協力をお願いします

会員募集

国から援助を受けず、NPO法人災害救助犬ネットワーク
会員が訓練と装備の費用を自ら随って活動しています。

愛犬を救助犬に育てたいという方、ボランティアとして
参加できる方の入会を歓迎します。

犬は飼っていないが、当組織の趣旨に賛同してご協力を
いただける方、また災害時の出動にはサポーターとしてご
協力いただける方もお待ちしております。

事務局か、お近くの事務所にお問い合わせください。

救助犬の反応で生存確認

土砂崩れの下から92時間ぶりに救出された皆川優太君(2)の生存を
知らせたのは災害救助犬レスター号でした。どこに埋もれているの
かわからない現場で捜索を始めてから僅か15分で発見しました。

ガレキの下に 生き埋めになったら…

地震、雪崩、土砂崩れなどの自然災害や爆発で人が生き埋めにな
ることがあります。生き埋めになった人の位置を探り出すには、
いまのところ、災害救助訓練を受けた犬の方が、どんな探査器具
よりもはるかに優れています。

私たちが開発した隊員、及び救助犬の訓練方法が優れているは
証明されていますし、災害地チームは数多くの災害においても、
その実力が認められています。

訓練を受けた災害救助犬は極めて熱心に探査し、困難な地形や
不安定な地盤に行動を妨げられたり、騒音や不快な臭いに気を散
らされずに、ガレキの中から人間の臭いがする場所で吠えたり、
ひっかいたりすることで位置を知らせてくれます。

山で迷ったり ケガをしたら…

道に迷ったハイカー、家出した子供、うつ病の人、飛行機事故
によるケガ人や死者、このような人たちは、救助隊が向かう前に、
まず見つけておかなければなりません。

私たちは、このようなケースに迅速に対応するために地域捜索
チームを提供しています。地域捜索犬と隊員は、よく訓練されて
おり、見通しのきかない地域でも機敏に、徹底的に捜索します。
必要であれば夜や霧の日でも出動させることができ、警察や消防
の捜索活動を補っています。

同じ実力があり、お互いに相手に合やすことができる人と犬、というパートナーが協力して、人々を助けられればと思っています

- ▼ 1991年富山で日本初の災害救助犬を育成
- ▼ 災害救助犬アマチュアハンドラー育成を重点に活動
- ▼ 全国の災害救助犬ボランティアが連携をできる組織
NPO法人災害救助犬ネットワークを2007年9月設立
- ▼ 2010年度:会員98名(26都府県)、認定犬43頭
- ▼ 災害救助犬、ハンドラー、犬とともに行動する隊員の
能力向上・維持のため各地で訓練会・認定審査会開催

災害地チーム

災害地チームは、ガレキや土砂
の下などに生き埋めになってい
る人を捜し出します。24時間
出動可能な体制で、隊長+5
チームを整えています。



地域捜索チーム

地域捜索チームは、森林や原野
で道に迷ったり、負傷した人を
捜し出します。出動単位は、地
域捜索は5エリアで対応可能で
早期出動が鍵となります。



■1チーム構成=隊長+救助犬3頭+ハンドラー3名+サポーター3名(無線連絡、記録等)

<http://www.drd-network.or.jp>

info@drd-network.or.jp

NPO法人 災害救助犬ネットワーク

■本部事務局(076)434-0099 ■東北(022)347-8806 関東(045)710-7055 関西(075)431-4410 中国(082)425-1215

